



しばた いさお 柴田 勇雄 議員

問 新型コロナウイルス感染症対策は

答 発生段階に応じた体制の整備

波が懸念される状況にある。引き続き、新たな生活様式を取り入れながら、経済活動の回復と、感染拡大防止に努めなければならない。



茶屋場・田子線側から始まっている新大橋の工事

現計画を除いた延長1320mについては、予定している改良事業完了後に、ほかの町道の整備状況などを踏まえ、改めて検討したい。

町長 依然として本県から感染者が発生している状況は、当然誇るべきことで、さまざまな憶測はある。

議員 発生段階に応じた対処方針を定め、町対策本部を中心に県や医療機関と連携しながら、体制の整備を図る。

町長 4月には商工会と連携し商工会員となつて、連携し商工業者を対象に、売り上げに関する調査を実施した。

町道葛巻浦子内線整備の整備完了後、道路の拡幅など、引き続き改良整備が必要ではないか。

議員 岩手県内が「感染者確認ゼロ」の驚異的実態であるが、町長の所見は。

議員 葛巻型DMOの取り組みは。

町長 観光を切り口に新たな視点で若者の雇用を創出する取り組みとしてDMO事業に取り組んでおり、特産品・まちなか・観光PR・スポーツツーリズム・若者高校生・移住交流の6つの部会で取

町道葛巻浦子内線整備の整備完了後、道路の拡幅など、引き続き改良整備が必要ではないか。



えんどう ひろき 遠藤 裕樹 議員

問 コロナ対策の現状と展望は

答 第2波にも適切に対応する

町長 感染症対策は2月3日に対策連絡会議を立ち上げ、その後町対策本部に移行し、自粛要請、衛生資材の備蓄と配布、情報発信による啓蒙活動など感染防止に取り組んできた。

議員 第2波への対応は、市町村と連携した対応をとり、発生段階ごとの的確な対応がとれるよう体制を整備しながら、地域経済に打撃にならないように取り組んでいく。

町長 観光を切り口に新たな視点で若者の雇用を創出する取り組みとしてDMO事業に取り組んでおり、特産品・まちなか・観光PR・スポーツツーリズム・若者高校生・移住交流の6つの部会で取

町長 就学前教育のあり方について検討委員会での協議を重ね、就学前教育の方針を策定した。また、保護者などの要望、設備の老朽化の状況を総合的に踏まえながら整備計画の策定を進めていく。

議員 第2波への対応と、アフターコロナについての展望は。

議員 葛巻型DMOの取り組みは。

町長 就学前教育のあり方について検討委員会での協議を重ね、就学前教育の方針を策定した。また、保護者などの要望、設備の老朽化の状況を総合的に踏まえながら整備計画の策定を進めていく。

議員 保育園の老朽化と幼児教育、どう考えるか。



まちの活性化に取り組むDMOの観光PR部会

DMOとは…地域住民が観光産業や行政と連携し、地域自らが誘客事業を行う着地型観光（観光地では味わえない経験や体験を観光商品として打ち出すこと）の組織や人材

議員 第2波への対応と、アフターコロナについての展望は。

議員 葛巻型DMOの取り組みは。

町長 就学前教育のあり方について検討委員会での協議を重ね、就学前教育の方針を策定した。また、保護者などの要望、設備の老朽化の状況を総合的に踏まえながら整備計画の策定を進めていく。

議員 保育園の老朽化と幼児教育、どう考えるか。